

みずほCustomer Desk Report 2017/10/18号(As of 2017/10/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	112.24
TKY 9:00AM	112.18	1.1794	132.32	0.9758	1.3253	0.7845
SYD-NY High	112.48	1.1800	132.37	0.9809	1.3286	0.7863
SYD-NY Low	112.04	1.1736	131.86	0.9748	1.3155	0.7818
NY 5:00 PM	112.21	1.1766	132.01	0.9784	1.3193	0.7846
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.92/8.295		△25RR	1.275	Yen Call Over	
NY DOW	22,997.44	40.48	債券市場			
NASDAQ	6,623.66	▲0.35	日本2年債	-0.1350	0.5bp	
S&P	2,559.36	1.72	日本10年債	0.0700	0.6bp	
日経平均	21,336.12	80.56	米国2年債	1.5463	0.8bp	
TOPIX	1,723.37	4.19	米国5年債	1.9581	0.8bp	
シカゴ日経先物	21,400.00	30.00	米国10年債	2.2998	▲0.4bp	
ロンドンFT	7,516.17	▲10.80	独10年債	0.3650	▲0.7bp	
DAX	12,995.06	▲8.64	英10年債	1.2760	▲6.0bp	
ハンセン指数	28,697.49	4.69	豪10年債	2.7630	1.5bp	
上海総合	3,372.04	▲6.43	為替市況	USD/CNH	6.6063	0.0234
USDJPY 3M Vol	8.35	▲0.04%	ドルインデックス	93.49	0.17	
USDJPY 6M Vol	9.03	▲0.00%	商品市況	CRB指数	184.239	▲0.38
EURJPY 3M Vol	7.97	▲0.16%	NY金	1,286.20	▲16.80	
EURJPY 6M Vol	9.32	0.06%	WTI	51.88	0.01	
			Dubai Spot	56.22	0.25	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月17日	9:30	豪 RBA理事会議事録公表(10/3開催分)	-	-
	17:00	欧 コンスタンシオECB副総裁 講演	-	-
	17:30	英 GPK(前月比/前年比)	9月 0.3%/3.0%	0.3%/3.0%
	17:30	英 PPK(前月比/前年比)	9月 0.2%/3.3%	0.2%/3.3%
	18:00	欧 GPK(前月比/前年比)	9月 0.4%/1.5%	0.4%/1.5%
	18:00	独 ZEW現状指数/期待指数	10月 87.0/17.6	88.5/20.0
	21:30	米 輸入物価指数(前月比/前年比)	9月 0.7%/2.7%	0.6%/2.6%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	9月 0.3%	0.3%
10月18日	2:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

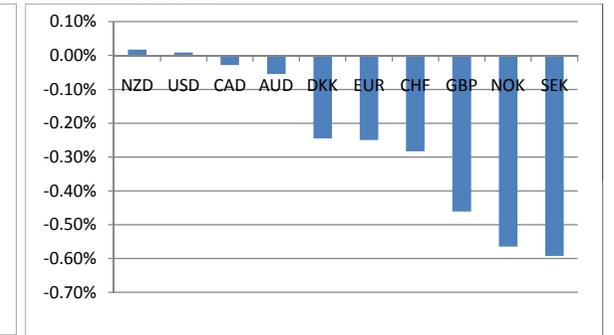
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月18日	17:10	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	17:30	英 ILO失業率	8月 4.3%	4.3%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.1%
	20:45	欧 プラトECB理事 講演	-	-
	21:00	米 ガドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	9月 1175K/1245K	1180K/1272K
	23:15	欧 クレーECB理事 講演	-	-
10月19日	3:00	米 ペーヂュブック公表	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.80-112.80	1.1700-1.1820	131.50-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は、小幅ながら上に往って来いの展開。日経平均が底堅く推移する中で東京時間のドル円も112円台での底堅い展開。その後、米9月輸入物価指数が良好な内容となると、米金利の上昇に伴ってドル円は112円台半ばまで上昇。NYダウが一時過去最高値を更新する動きにドル買いが強まるとドル円は112.48まで上昇するも、その後はNAFTA交渉が難航し期限が延長されたことなどが嫌気されドル円はややレベルを下げて112円台前半で本日を迎えた。本日のドル円相場は方向感に乏しい中で横ばい推移を予想。本日から中国では5年に1度の共産党大会が開催される予定だか、すぐに何か重要事項が発表されることは考えづらく、19日には米次期FRB議長人事を巡ってトランプ氏とイエレン氏による会談も予定しており、様子見ムードが強まる中でドル円はやや方向感に欠ける展開となりそう。足許でやや材料難な雰囲気は漂う中でドル円は方向感に乏しい推移が続いているが、米長期金利が底堅く推移する他、米株も堅調推移が続いている中でドル円が一時的にレベルを下げる展開は想像し辛く基本的には底堅い展開がメインシナリオ。本日のドル円は一定のレンジ内での底堅い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は112.18レベルでオープン。仲値にかけて一時112.30まで上昇する場面が見られたものの、ドル買いの流れが一巡した後は反落。日経平均株価が高寄り後、一時マイナス圏に落ち込んだことなどと相俟って、ドル円は安値となる112.04まで下落した。午後に入り、日経平均株価が再びプラス圏に持ち直す中、ドル円も小幅に上昇する展開となり、112.19レベルで海外市場に渡った。豪ドルは0.7845レベルで東京時間オープン。RBA議事録が発表され、「豪ドルがさらに大幅に上昇すれば、成長・インフレ鈍化につながる」などの内容が見られたものの、マーケットの反応は限定的。その後も0.7850近辺での揉み合い推移が続き、0.7837レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は堅調推移。112.19レベルでオープン後、次期FRB議長は効派と言われているジョン・テイラー教授かとの一部思惑に、112.10をサポートに底堅く推移し112.17レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.3242レベルでオープン。英9月CPI(前年比)が+3.0%(予想+3.0%、前回+2.9%)と5年半ぶりの3%台となったことを受け、次回英中銀金融政策委員会(11月2日)での利上げ観測が更に強まると、高値となる1.3286まで上昇。しかしその後、ラムステンBOE副総裁が「英インフレは依然リスク水準を下回っている」、「英利上げに賛成票を投じる準備ができていない」など、ハ派な発言をしたため利上げ観測が後退し、1.3182まで下落。1.3185レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.17レベルでオープン。朝方は堅調な米銀の企業決算が伝わる中、米9月輸入物価指数が予想を上回ったことからドル買いが強まり、112.46まで上昇。続いて発表された米9月鉱工業生産(前月比)は予想と一致しドル円の反応は限定的となるが、徐々にドル買い優勢となり、高値となる112.48まで上昇。その後はトランプ大統領が11月3日までにイロン・ハワード、ウォルシュ、ユーン、テイラーの5人の中から次期FRB議長を決めると発言したことが伝わるものの、ドル円の反応は限定的となる。一方、徐々に米金利が低下する動きにドル売りが強まり、112.13まで下落した。終盤に掛けては閑散な取引が続き、112.21レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、1.1763レベルでNYオープン。朝方はドル買いが優勢となったことから1.1736まで下落するも、その後は特段ニュースが見当たらない中、米金利が低下する動きを受けてドル売り優勢となり、1.1775まで戻して1.1766レベルでクロスした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。